

JIS X8341-3に関連するウェブヘルパーの点検項目

JIS X 8341-3	ウェブヘルパー点検			
個別要件	項目番号	優先度	点検種別	項目内容
5.1 規格及び仕様				
a) ウェブコンテンツは、関連する技術の規格及び仕様に則り、かつ、それらの文法に従って作成しなければならない。	1.1.13(*)	2	自動	絵文字(携帯端末用コードでよく使われるもの)が使われていないか
	1.1.14(*)	2	自動	機種依存文字が使われていないか
	3.2.1	2	自動	公開されている正式な文法でドキュメントが作られているか
	4.3.1	3	自動	文章の基本の(primary)自然言語を定義しているか
	11.2.1	2	自動	いずれ廃棄される予定のW3C技術を使用していないか
	3.1.1	2	半自動	適切なマークアップ言語があれば、マークアップを用いて情報を伝えているか
b) ウェブコンテンツには、アクセス可能なオブジェクトなどの技術を使うことが望ましい。	6.4.1	2	半自動	プログラムのオブジェクトにおいては、入力装置に依存しないか
	8.1.1	2	半自動	スクリプトやアプレットを補助的技術を用いて可能な限りアクセシブルにしているか

5.2 構造及び表示スタイル				
a) ウェブコンテンツは、見出し、段落、リストなどの要素を用いて文書の構造を規定しなければならない。	3.5.1	2	自動	見出し項目は正しく入れ子化(nesting)されているか
	3.5.2	2	自動	テキストは見出しに間違えられないか
	3.5.3	2	自動	見出し要素(H1~H6)に長いテキストを使っていないか
	3.6.1	2	自動	リスト要素はリストのみに使われ、正しく入れ子化(nesting)されているか
	3.7.1	2	半自動	引用はQ要素やBLOCKQUOTE要素でマークアップしているか
	3.7.2	2	半自動	Q要素やBLOCKQUOTE要素は正しく使われているか
	3.7.3	2	自動	BLOCKQUOTE要素をフォーマットに使用していないか
	12.3.3	2	半自動	リスト要素が正しく使用されているか
	14.1.1	1	半自動	明瞭で正確な見出し化がされているか
b) ウェブコンテンツの表示スタイルは、文書の構造と分離して、書体、サイズ、色、行間、背景色などをスタイルシートを用いて記述することが望ましい。ただし、利用者がスタイルシートを使用できない場合、又は意図的に使用しないときにおいても、ウェブコンテンツの閲覧及び理解に支障が生じてはならない。	3.3.1	2	自動	レイアウトや体裁の制御にはスタイルシートを用いているか
	6.1.1	1	半自動	スタイルシートがなくても、ページは読むことが可能になっているか
c) 表は、分かりやすい表題を明示し、できる限り単純な構造にして、適切なマーク付けによってその構造を明示しなければならない。	5.1.2	1	自動	データ表では行と列の見出し語が付いているか
	5.2.1	1	半自動	データ表ではscope、headers、axisでラベルをつけているか
	5.5.1	3	自動	表中の行や列のデータを表示する場合、表の要約が用意されているか
	5.5.2	2	自動	表にキャプションが用意されているか
	5.6.1	3	自動	行や列の長い見出しラベルに対しての省略語が用意されているか

JIS X 8341-3 個別要件	ウェブヘルパー点検			
	項目番号	優先度	点検種別	項目内容
d) 表組みの要素をレイアウトのために使わないことが望ましい。	5.3.1	2	半自動	レイアウト表はリニアライズされて意味があるか
	5.4.1	2	自動	表をレイアウトのため使用する場合、見かけ上の書式化のために、構造化マークアップを使用していないか
e) ページのタイトルには、利用者がページの内容を識別できる名称を付けなければならない。	13.2.1	2	自動	ページにタイトルは付けられているか
f) フレームは、必要以上に用いないことが望ましい。使用するときは、各フレームの役割が明確になるように配慮しなければならない。	1.1.8	1	自動	FRAME中のlongdesc属性は正しく使われているか
	6.2.1	1	半自動	FRAMEおよびIFRAME中で、正しいソースが使われているか
	6.5.1	2	自動	各FRAMESETにはNOFRAMES要素が含まれているか
	12.1.1	1	自動	各フレームにタイトルがつけられているか
g) 閲覧しているページがウェブサイトの構造のどこに位置しているか把握できるように、階層などの構造を示した情報を提供することが望ましい。	該当なし			

5.3 操作及び入力

a) ウェブコンテンツは、特定の単一のデバイスによる操作に依存せず、少なくともキーボードによってすべての操作が可能でなければならない。	6.4.1	2	半自動	プログラムのオブジェクトにおいては、入力装置に依存しないか
	9.2.1	2	半自動	固有のインターフェースを持つ要素は、すべてデバイスに依存していないか
	9.3.1	2	半自動	スクリプトは論理的イベント処理型になっているか
b) 入力欄を使用するときは、何を入力すればよいかを理解しやすく示し、操作しやすいよう配慮しなければならない。	10.2.1	2	半自動	LABEL要素は正しく配置されているか
	10.4.1	3	自動	INPUT、TEXTAREA、SELECT要素でデフォルトの値があるか
	12.3.1	2	半自動	8つ以上OPTION要素がある場合にOPTGROUP要素が使用されているか
	12.3.2	2	半自動	FORM要素に8つ以上コントロールがある場合に、FIELDSET要素が使用されているか
12.4.1	2	自動	LABEL要素やINPUT要素は正しい属性をもっているか	
c) 入力に時間制限を設けないことが望ましい。制限時間があるときは事前に知らせなければならない。	該当なし			
d) 制限時間があるときは、利用者によって時間制限を延長又は解除できることが望ましい。これができないときは、代替手段を用意しなければならない。	該当なし			
e) 利用者の意思に反して、又は利用者が認識若しくは予期することが困難な形で、ページの全部若しくは一部を自動的に更新したり、別のページに移動したり、又は新しいページを開いたりしてはならない。	7.4.1	2	自動	META要素に自動リフレッシュが入っていないか
	7.5.1	2	自動	META要素に自動リダイレクトが入っていないか
	10.1.1	2	自動	AおよびAREAのtarget属性において、blankやnewが含まれていないか
	10.1.2	2	半自動	スクリプト類が新しいウィンドウを開かないか
f) ウェブサイト内においては、位置、表示スタイル及び表記に一貫性のある基本操作部分を提供することが望ましい。	該当なし			
g) ハイパーリンク及びボタンは、識別しやすく、操作しやすくすることが望ましい。	9.4.1	3	自動	論理的なタブ属性(tabindex)を、フォーム制御、オブジェクトから定義しているか
	9.5.1	3	半自動	accesskey属性が使われているか
	10.5.1	3	自動	隣接するリンクは分離されているか

JIS X 8341-3 個別要件	ウェブヘルパー点検			
	項目番号	優先度	点検種別	項目内容
h) 共通に使われるナビゲーションなどのためのハイパリンク及びメニューは、読み飛ばせるようにすることが望ましい。	該当なし			
i) 利用者がウェブコンテンツにおいて誤った操作をしたときでも、元の状態に戻すことができる手段を提供しなければならない。	該当なし			

5.4 非テキスト情報

a) 画像には、利用者が画像の内容を的確に理解できるようにテキストなどの代替情報を提供しなければならない。	1.1.1	1	自動	すべての画像(IMG)に代替テキスト(alt)が用意されているか
	1.1.2	1	自動	画像が重要な情報を伝達し、その代替テキストがある場合はlongdesc属性やDリンクが加えられているか
	1.1.15(*)	1	半自動	画像(IMG)の代替テキスト(alt)が場所取りテキストになっていないか
b) ハイパリンク画像には、ハイパリンク先の内容が予測できるテキストなどの代替情報を提供しなければならない。	1.1.3	1	自動	imageタイプのINPUTで代替テキスト(alt)が正しく用意されているか
	1.1.11	1	自動	a要素内のテキスト内容は適切か(13.1.1と同じ:AERT参照)
	1.1.9	1	自動	AREA中に代替テキスト(alt)があるか
	1.5.1	3	自動	クライアント側イメージマップの各動作領域にテキストリンクを作っているか
	1.2.1	1	半自動	サーバー側イメージマップの各動作領域にテキストのリンクを作っているかイメージマップのすべてのホットスポットには代替のテキストリンクが用意されているか
	9.1.1	1	自動	サーバー側イメージマップを使っていないか
	13.1.1	2	自動	各リンク部分の行き先は明確になっているか
c) ウェブコンテンツの内容を理解・操作するのに必要な音声情報には、聴覚を用いなくても理解できるテキストなどの代替情報を提供しなければならない。	1.1.6	1	半自動	オーディオファイルには代替テキストがあるか
	1.1.7	1	自動	埋め込みオーディオファイルにテキスト等価物が提供されているか
d) 動画など時間によって変化する非テキスト情報には、字幕又は状況説明などの手段によって、同期した代替情報を提供することが望ましい。同期して代替情報が提供できない場合には、内容についての説明を何らかの形で提供しなければならない。	1.3.1	1	半自動	マルチメディア情報はオーディオ説明を持っているか
	1.4.1	1	半自動	マルチメディア情報には同期した代替情報があるか
	1.4.2	1	半自動	SMIL中ではsystem-captionフラグがあるか(1.4.1に含む)
e) アクセス可能ではないオブジェクト、プログラムなどには、利用者がその内容を的確に理解し操作できるようにテキストなどの代替情報を提供しなければならない。また、アクセス可能なオブジェクト又はプログラムに対しても、内容を説明するテキストなどを提供することが望ましい。	1.1.4	1	自動	アプレット(APPLET)に代替テキスト(alt)が正しく用意されているか
	1.1.5	1	自動	画像表示目的のOBJECT要素に代替テキストが正しく使われているか
	1.1.10	1	自動	SCRIPTはNOSCRIPT等価とあわせ正しく使われているか
	6.2.2	1	半自動	ダイナミックなコンテンツと連動してその代替がアップデートされるか
	6.3.1	1	自動	重要な情報を伝えたり、機能したりするスクリプトの各々に代替のコンテンツを用意しているか(OBJECT、EMBED、APPLET)

JIS X 8341-3 個別要件		ウェブヘルパー点検			
		項目番号	優先度	点検種別	項目内容
5.5 色及び形					
a) ウェブコンテンツの内容を理解・操作するのに必要な情報は、色だけに依存して提供してはならない。	2.1.1	1	半自動	色彩を伴うすべての情報は、色彩指定しなくても入手可能か	
b) ウェブコンテンツの内容を理解・操作するのに必要な情報は、形又は位置だけに依存して提供してはならない。	該当なし				
c) 画像などの背景色と前景色とは、十分なコントラストを取り、識別しやすい配色にすることが望ましい。	該当なし				

5.6 文字					
a) 文字のサイズ及びフォントは、必要に応じ利用者が変更できるようにしなくてはならない。	3.4.1	2	自動	絶対画素数ではなく、相対サイズと相対座標を使っているか	
b) フォントを指定するとき、サイズ及び書体を考慮し読みやすいフォントを指定することが望ましい。	該当なし				
c) フォントの色には、背景色などを考慮し見やすい色を指定することが望ましい。	2.2.1	3	自動	テキスト等と背景は誰にでも見やすい組み合わせになっているか	

5.7 音					
a) 自動的に音を再生しないことが望ましい。自動的に再生する場合には、再生していることを明示しなければならない。なお、bgsound 要素を使って音を再生すると、利用者は音が再生されていることも分からない、また、停止、ボリューム調整などの制御もできない。	該当なし				
b) 音は、利用者が出力を制御できることが望ましい。	該当なし				

5.8 速度					
a) 変化又は移動する画像又はテキストは、その速度、色彩・輝度の変化などに注意して作成することが望ましい。	7.2.1	1	自動	BLINK要素によりプリンキングが使われていないか (W3C削除推奨)	
	7.3.1	2	自動	MARQUEE要素によりスクロールが使われていないか	
	7.3.2	2	半自動	アプレットやスクリプトで動くコンテンツを使っていないか	
b) 早い周期での画面の点滅を避けなければならない。	7.1.1	1	半自動	ページがフリッカーの原因になっていないか	

5.9 言語					
a) 言語が指定できるときは、自然言語に対応した言語コードを記述しなければならない。	該当なし				
b) 日本語のページでは、想定する利用者にとって理解しづらいと考えられる外国語は、多用しないことが望ましい。使用するとき、初めて記載する時に解説しなければならない。	該当なし				
c) 省略語、専門用語、流行語、俗語などの想定する利用者にとって理解しにくいと考えられる用語は、多用しないことが望ましい。使用するとき、初めて記載されるときに定義しなければならない。	4.2.1	3	自動	略語が使われていないか	
	14.1.11(*)	2	自動	追加項目 難しいカタカナ語が含まれていないか	
	14.1.9(*)	2	自動	追加項目 同音異義語が含まれていないか	

JIS X 8341-3	ウェブヘルパー点検			
個別要件	項目番号	優先度	点検種別	項目内容
d) 想定する利用者にとって、読みの難しいと考えられる言葉(固有名詞など)は、多用しないことが望ましい。使用するときは、初めて記載されるときに読みを明示しなければならない。	14.1.10(*)	2	自動	追加項目 難漢字が含まれていないか
e) 表現のために単語の途中にスペース又は改行を入れてはならない。	該当なし			
f) ウェブコンテンツは、文章だけではなく、分かりやすい図記号、イラストレーション、音声などを合わせて用いることが望ましい。	該当なし			

Copyright (c) 2004 by ウェブアクセシビリティ実証実験事務局